

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

大学の教員養成に対する理念

平安女学院大学は、長年にわたり、キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神―「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材の養成に努めてきた。この教育理念の実現のために、教育指針として「暎・心得・愛」を体得した女性の育成を掲げ、学生が「国際的に通用する気品と品格、そして豊かな教養」、「進路に対応する専門的なスキルと自分なりの得意技」、「寛容や思いやりに満ち、コミュニケーション力」の資質を身につけることを目標としている。

この本学の教育指針と人材養成の目標は、優れた教師の条件としての豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法、コミュニケーション能力などを含む「総合的な人間力」の育成と軌を一にし、常に研究と修養に努め、専門性の向上を求めるべき教諭の資質能力の形成に合致するものである。このように本学は建学の精神に基づいて、人間育成を自らの主要な任務と自覚し、より質の高い教諭養成に使命感を持って、日々努力している。

学部学科の教員養成に対する理念

・子ども教育学部子ども教育学科

子ども教育学部子ども教育学科では、幼稚園教諭養成課程および保育士養成課程、小学校教諭養成課程、中学校教諭（英語）養成課程等、子どもの発達段階に応じた教育に対して有効に活用することができるようにカリキュラムを構成し、子ども教育学に関する専門的知識と実践力を涵養するとともに、子ども教育・保育の分野に幅広く携わる人間性豊かな人材の育成を行い、社会の変化にも柔軟に対応できる女性教諭を輩出している。